

意見の概要	<p>江南市は、駅周辺を含む商業地域及び近隣商業地域において、低層住宅が広がり、大規模商業施設や医療施設の多くが郊外に立地し、その周辺に人が集まる傾向があるため、市中心部を再開発して莫大な費用を投資するよりも、現時点ではコンパクトシティの形成は諦めた方が良い。</p> <p>市街化調整区域を活用しつつ、商業施設の周辺に市街化区域及び緩和地域を拡大することで人口を増やし、企業誘致に取り組むことが重要である。コンパクトシティの形成は、駅周辺の再開発が完了した際に取り組むべきではないか。</p>
市の考え方	<p>本計画は適切な誘導区域及び施設を設定することにより、人口減少・少子高齢化の進行を踏まえた、持続可能な都市づくりを目指すものです。</p> <p>市街化調整区域を含め、市内全域での無秩序な開発が進むことで公共交通や都市施設の整備等に莫大な費用が必要となり、公共サービスの効率の低下が懸念されることから、各誘導区域内における魅力や利便性を高めつつ、誘導施策を実施し、コンパクト・プラス・ネットワークの形成を進めていくこととしています。</p>
意見の概要	<p>図書館や保健センター、子育て支援センター等、既存施設の更新の際には、分館や分室等を適切に配置してほしい。</p>
市の考え方	<p>現在、図書館においては、江南市布袋駅東複合公共施設内に加え、古北にじいろ会館内には分室が設置されている他、市役所や公民館など市内7箇所にて配本サービスを行っており、高齢者や身体障害者などの来館が困難な方への宅配サービスも実施しています。</p> <p>また、子育て支援センターについては江南市布袋駅東複合公共施設内及び宮田保育園、みどりの風幼稚園内にも設置しています。なお、保健センターについては、施設更新の際に検討した結果、市域全体の状況から分館等は設置せず、江南市布袋駅東複合公共施設内に設置しています。</p> <p>今後も、コンパクト・プラス・ネットワークの理念に基づいたまちづくりを実現するため、様々な地域の住民が利用する施設については、それぞれの役割分担に配慮しながら、異なる機能を持つ施設を集約することで、施設の有効利用を図り、市民の利便性の向上につなげることとしています。</p>
意見の概要	<p>まちづくりの方向性を考える情報として、江南市への転入・転出動機等のアンケート調査・分析が必要ではないか。</p>
市の考え方	<p>本市への転入・転出動機等のアンケート調査・分析については、今後のまちづくりの方向性を考えていく上で効果的な調査方法について検討していきます。</p>

【第5章 都市機能誘導区域の設定】

No.4

意見の概要	<p>「誘導施設の設定」について、誘導が完了した施設については、新たに開設する予定がないのであれば削除するべきであり、既に建設が予定されている「(仮称)多世代交流プラザ」が、施設内に対象となる部屋等を設置するだけの誘導であれば、記載すべきではない。</p>
市の考え方	<p>本計画は計画期間を令和21年度までとしています。人口や施設分布等の現況については、概ね5年ごとの分析及び評価の際に更新することとし、施策や目標値については、計画期間を通して掲げている内容の進捗状況を把握するために完了・達成したのも記載することとしています。(完了・達成したものは第6章に記載しています。)</p> <p>また、「(仮称)多世代交流プラザ」は、老人福祉センター、中央コミュニティ・センターの建替え・複合化により、児童館や子育て支援機能を併せ持ち、子どもから高齢者までの多世代や、外国人など様々な方が集う交流施設として、開設・誘導を予定しています。</p>

【第6章 誘導施策】

No.5~6

意見の概要	<p>高齢者が安心して暮らせるような、地域公共交通ネットワークとの新たな連携・再編の方向性を示してほしい。</p>
市の考え方	<p>現在、本市の地域公共交通会議や地域公共交通会議検討部会において、新たな交通施策等の検討を行っていますが、本計画との連携については今後、整理していきます。</p>
意見の概要	<p>中心市街地や駅周辺に誘導するのではなく、隣接自治体と連携した広域的な誘導区域の設定が必要ではないか。</p>
市の考え方	<p>本市では居住エリアが市内全域に広く分布しておりますが、市縁辺部は、その多くが他自治体の市街化調整区域と接していることから、広域的に連携した誘導区域の設定は難しいと考えています。</p>